

教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検、評価報告書

平成30年度事業の評価結果

令和元年12月18日

安芸太田町教育委員会

目 次

はじめに	1 頁
------	-----

学校教育課

1 学校の概要及び教育施策（評価無し）	3 頁
2 教育委員会費	
(1) 教育委員会運営事業（評価無し）	5 頁
3 教育総務費	
(1) 教育委員会事務局運営事業	
ALT（外国語指導助手）活用事業	6 頁
学校ICT整備	7 頁
(2) 奨学金貸付事業	8 頁
(3) 連携教育推進事業	10 頁
(4) 加計高校を育てる会事業	11 頁
4 小学校費・中学校費	
(1) 小・中学校管理事業	12 頁
(2) 小・中学校管理・運営事業	13 頁
5 教育振興費	
(1) 小学校教育振興事業・中学校教育振興事業	15 頁
(2) 小学校就学援助事業・中学校就学支援事業	17 頁
(3) 「山・海・島」体験活動推進事業	18 頁
6 幼稚園費	
(1) 幼稚園管理事業	20 頁
7 保健体育費	
(1) 加計共同調理場運営事業・筒賀共同調理場運営事業	22 頁

生涯学習課

1 社会教育費	
(1) 社会教育総務管理事業	24 頁
(2) 社会教育施設管理事業（評価無し）	25 頁
(3) 文化財保護管理事業	25 頁
(4) 生涯学習推進事業	26 頁
(5) 図書館運営事業	35 頁
(6) 放課後子ども教室推進事業	37 頁
2 保健体育総務費	
(1) 保健体育総務管理事業	39 頁
(2) 体育施設管理事業（評価無し）	41 頁
(3) 社会体育振興事業	44 頁

はじめに

1 趣 旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表しなければならないこととされています。

安芸太田町教育委員会では、事務・事業の点検を行い、教育行政サービスの質の向上と効率化の実現、コスト削減を進めるために、評価し、仕事の再点検・再確認を行うとともに、厳しい財政状況における効果的な町民サービスを実現させ、効率的な教育行政の推進に資するよう努めます。

2 安芸太田町教育委員会点検・評価の方法

評価は各事業等について、行政内部による評価を行います。

その後、社会教育委員会議（外部委員）に諮り、議会への提出、ホームページで公表します。

また、公表により町民の皆さんからいただく意見、要望も参考にし、今後の事業計画に反映していきます。以上の工程を毎年繰り返すことで、事業の改善を進めよりよい教育行政の運営に努めます。

3 実施の方法

◎ 評価について

(1) 評価の対象とする事業

事業評価をする項目は、安芸太田町主要施策の成果に関する調書をベースに評価します。ただし、予算のほとんどが事務費や管理費である場合は、評価しません。評価する年度で終了・廃止となる事業についても、すべて評価対象となります。

(2) 事業評価における評価者（記入者）

事業評価は事業予算担当者が評価者となります。

(3) 事業の評価

ア 必要性

現在の町民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業の必要性があるかどうか、状況の変化に対応しているかどうかを評価します。

イ 有効性

施策や運営方針、町で策定した長期総合計画の目的の実現にどの程度寄与しているかを評価します。

ウ 経済・効率性

事業のコストがかかりすぎていないか、最小の経費で最大の効果を発揮しているか、無駄がないかなど、経済性の面から評価します。

また、事務状況の評価し、併せて目標の設定水準が適切かどうかも検討します。

エ 評価

事業の各評価項目を勘案し、外部評価委員の評価と意見の聞き取りを行います。

～ 評価のランク ～

A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている
B	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
C	成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い
D	成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要

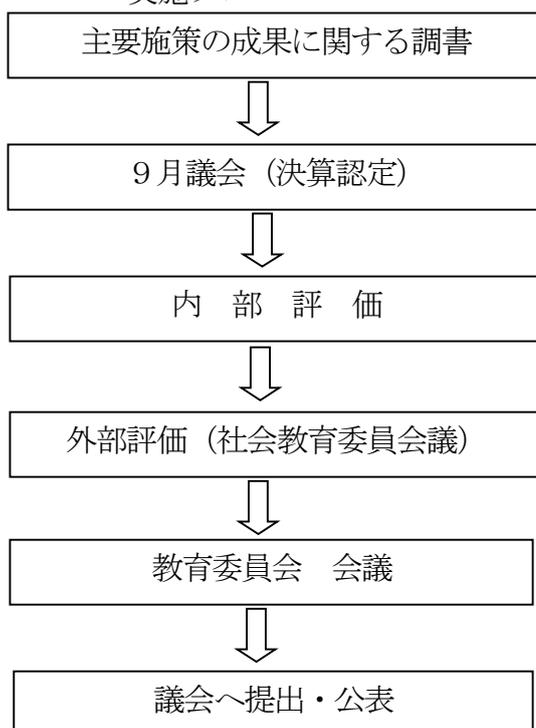
(4) 事業の方向性

上記の評価結果を踏まえて、今後どのように事業を進めるかを選択します。

(5) 評価結果の公表

公表に際しては、議会へ提出し町ホームページに掲載します。

～ 実施フロー ～



○ 教育委員会 学校教育課

1. 学校の概要及び教育施策

小学校は、児童数 202 名で平成 29 年度と比べて 1 名減、学級数は 2 減（通常学級 1 減、特別支援学級 1 減）であった。

中学校は、全体では生徒数 113 名で 6 名の減であった。

広島県教育委員会「『学びの変革』パイロット校事業」の全県展開を推進するため、「町学びの変革推進協議会」を設置し、町内での「主体的、対話的で深い学び」の実現を目指した取組を行っている。これにより、これまで積み上げてきた協調学習の授業実践をすべての学校でできる状況となった。教職員の指導力向上にもつながっている。

本町が日本技術士会中国本部と提携して主催する「安芸太田町科学アカデミー（次世代科学者育成プログラム）」は、6 年目となった。例年の科学工作に加え、広島呉高専の先生や生徒の協力により、新学習指導要領にあるプログラミング教室を行い、参加した児童生徒の興味関心をさらに高めることができた。

小学校 6 年と中学校 3 年を対象とした「全国学力・学習状況調査」では、小学校は全国平均を上回ったが、中学校では一部教科において全国平均を下回った。各校では改善計画を策定し、指導主事等学校へ出向いて実施方法も検討しながら学力向上に取り組んでいる。

外国語活動については、外国語指導助手（ALT）は 2 名体制で引き続き活動し、加えて新たに外国語教育推進員を配置し、外国語指導助手と各学校の連携を高め、小学校や幼稚園の外国語活動、中学校では外国語科（英語）の指導をさらに充実させた。また、平成 29 年度に引き続いて英語検定料補助事業を行い、中学生の英語力向上に努めた。

学校教育環境整備では、これまで使用していた児童生徒用パソコンの更新推奨時期を経過していたため、新学習指導要領を視野に入れ教師用と生徒用をタブレット機器に更新した。パソコン教室以外に教室でも使用できるよう無線 LAN 環境や大型提示装置なども整え、授業の質の向上と子どもの学習意欲の向上につながる整備となった。

(1) 学校別児童・生徒数及び教職員数（平成30年5月1日現在）

小学校

(単位：人)

	加計	筒賀	上殿	戸河内	合計
学級数	8(2)	4	4(1)	4	20(3)
1年生	16	7	4	7	34
2年生	18	8	3	7	36
3年生	14	7	7	5	33
4年生	21	5	4	3	33
5年生	19	5	3	7	34
6年生	16	4	5	7	32
計	104	36	26	36	202
学校長	1	1	1	1	4
教頭	1	1	1	1	4
教諭	11	4	3	4	22
養護教諭	1	1	1	1	4
事務職員	1	1	1	1	4
栄養教諭	0	1	0	0	1
計	15	9	7	8	39

※学級数の（ ）は、うち特別支援学級数。

※教職員数 教諭は、本務者の数。

中学校

(単位：人)

区分	加計	安芸太田	合計
学級数	4(1)	5(2)	9(3)
1年生	21	10	31
2年生	24	13	37
3年生	22	23	45
計	67	46	113
学校長	1	1	2
教頭	1	1	2
教諭	9	10	19
養護教諭	1	1	2
事務職員	1	1	2
計	13	14	27

※学級数の（ ）は、特別支援学級数。

2. 教育委員会費

(1) 教育委員会運営事業

① 安芸太田町教育委員等

教育長：二見吉康

教育委員：清胤祐子・河野義文・池野博文・河本千絵

② 教育委員会議の開催状況

12回

日時	主な協議事項	出席委員
4月23日	安芸太田町立小・中学校の管理及び学校教育法の実施に関する規則の一部改正について 安芸太田町職員旧姓使用取扱要綱の制定について 安芸太田町社会教育委員の委嘱について	5
5月16日	安芸太田町歴史民俗資料館条例の一部改正について 安芸太田町歴史民俗資料館管理運営規則の一部改正について	4
6月18日	安芸太田町学校運営協議会委員の委嘱について 安芸太田町学校関係職員定期健康診断実施要領について 安芸太田町社会教育委員の委嘱について 安芸太田町公民館運営審議会委員の委嘱について 安芸太田町立図書館協議会委員の委嘱について	5
7月18日	安芸太田町立学校職員衛生管理要綱の一部改正について	5
8月27日	安芸太田町新入学児童・生徒学用品費支給要綱の制定について 安芸太田町就学援助費支給要綱の一部改正について 平成31年度使用小学校教科用図書の採択について 平成31年度使用中学校教科用図書の採択について 著作教科書及び学校教育法附則第9条の規定による教科用図書の採択について	5
9月27日	学力調査結果について	5
10月22日	安芸太田町社会教育委員の委嘱について 安芸太田町公民館運営審議会委員の委嘱について 安芸太田町立図書館協議会委員の任命について 安芸太田町文化財保護審議会委員の任命について 安芸太田町スポーツ推進委員の委嘱について	5
11月22日	学校教職員人事異動について	5
12月18日	県費負担教職員の任免その他の進退の内申について	5

日 時	主な協議事項	出席委員
1月22日	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検、評価報告について 学校における働き方改革取組方針（平成30年度～平成32年度） 運動部活動の方針	5
2月20日	安芸太田町立安芸太田中学校寄宿舎居住費徴収条例廃止案を定例議会で上程することについて 安芸太田町立安芸太田中学校寄宿舎管理等に関する規則の廃止について 安芸太田町立小・中学校施設及び設備使用規定の一部改正について 安芸太田町立安芸太田中学校寄宿舎居住費の減免に関する事務処理要領の廃止について 安芸太田町奨学金貸付基金条例施行規則の一部改正について	5
3月14日	安芸太田町教育委員会事務局組織規則の一部改正について 安芸太田町教育委員会決裁規定の一部改正について 安芸太田町教育委員会懲戒処分等審査委員会設置要綱の一部改正について 県費負担教職員の任免その他の進退の内申について	5

③ 学校訪問・研究公開訪問

平成30年6月19日 戸河内幼稚園・戸河内小学校・上殿小学校

平成30年6月22日 加計小学校・加計中学校

平成30年6月26日 筒賀小学校・安芸太田中学校

3. 事務局費

(1) 教育委員会事務局運営事業

• ALT（外国語指導助手）活用事業

① 事業の目的・内容

ALTはJETプログラムによる2名に加え、新たに配置した外国語教育推進員により、3名体制となった。ALTは全小中学校へ毎週（小学校週2回、中学校週2回）訪問し、児童・生徒の英語による実践的コミュニケーション能力の育成と国際理解を深めた。

また、幼稚園や町内各こども園や保育所へ毎月訪問し、就学前教育の充実を図った。

② 事業の成果と課題

JETプログラムにより8月に1名のALTを新たに迎え、新しいALTが新生活や学校生活へ早期に順応できるよう努めた。また外国語教育推進員の配置により各学校との連携をより深めることができ、お互いに授業におけるALTの役割を理解し、新指導要領への対応に向け、体系的なカリキュラムを作成することができた。

外国語教育推進員により幼稚園は毎週1回、町内保育所及びこども園には月2回と訪問回数を増やし、ゲームや歌あそびをして過ごすことで、英語や多文化に慣れ親しむ機会を持たせることができた。

小学校においては「外国語活動」の充実と、コミュニケーション力の育成を図るとともに、新学習指導要領による英語の教科化へ向けた各学校の授業の取組みを補助した。

また、授業の中で折に触れてALTの自国の文化を紹介する時間や、本の読み聞かせの時間をとり、児童に他国の文化への興味を持たせることができた。

中学校においては英語科の授業のほか、休憩時間や他の活動時にも声をかけ、生徒の意欲や力を伸ばすことができた。また、月ごとにALTの自国の文化や生活について紹介するポスターを作成し、学校の掲示板へ掲示することで生徒の興味や国際理解を深めることができた。

英語暗唱大会においては、出場する生徒のサポートを熱心に行い、平成30年度も芸北地区の英語暗唱大会で入賞し、1年生と2年生の生徒が県大会に出場することができた。

今後は令和2年度からの小学校における英語の教科化と新学習指導要領に対応するため、更なる英語教育の充実へ向け有効なALTの活用について検討していく必要がある。

また、就学前の教育について更なる充実を図る。

③ 歳出決算額（ALT報酬・費用弁償・負担金） 7,394,145円

④ 評価

事業の評価	必要性（市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト削減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
備考				
外部評価	A	評価委員意見	○小学校の新学習指導要領で英語が教科へ移行するため、ALTを活用してしっかりとした準備ができている。今後も継続した取組が望ましい。	
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

• 学校ICT整備事業

① 事業の目的・内容

これまで使用していた児童生徒用パソコンの更新推奨時期を経過しており、新学習指導要領における新しい学びの実現として、教師用及び児童生徒用のパソコンをタブレット機器に更新した。これに対応するため、学校内の無線LAN環境や大型提示装置なども整備し、容易に授業で活用できる環境となった。

② 事業の成果と課題

タブレット機器にしたことにより、教材の視覚的な提示が容易になった。また、児童生

徒1人1台若しくはグループで用いることで、教師と児童生徒の双方向型の授業ができるため児童生徒の考えの見える化が可能となり、学習指導に役立っている。1学校1クラス最大人数分の整備のため、各学校とも有効活用できるよう使用する学年の計画表を作成するなど工夫している。今後は、近い将来に向け文部科学省の示す教育の情報化による1人1台可動式PC整備の導入に向けた整備の内容検討・計画が必要となる。

③ 金額

ア 学校ICT機器等整備（構築・備品含む） 53,457,840円

イ その他教育系管理費用

区分	金額	備考
回線使用料	430,224円	インターネット、プロバイダーほか
システム保守	1,972,728円	サーバー・ネットワーク保守 ウェブ会議システムほか
機器賃借料	2,605,365円	サーバー

④ 評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				
外部評価	B	評価委員意見	○将来、タブレット端末を教科書代わりにして授業することが本流となるかもしれない。児童・生徒が全員、使いこなすことができるよう基本的な技術を、確かに身につけさせていただきたい。	
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

(2) 奨学金貸付基金運営事業

① 事業の目的・内容

高等学校、専門学校及び大学に進学を希望するが、経済的な理由から修学が困難な者に対して奨学金を貸し付ける。

平成30年度の新規貸付者は、大学2人であった。

奨学基金会計の状況（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

収支の状況

収入の部		支出の部	
費目	金額 [円]	費目	金額 [円]
返還金	6,642,375	貸付金	6,144,000
前年度繰越金	41,404,003	次年度へ繰越	41,956,484
寄附金	0		
利子	54,106		
計	48,100,484	計	48,100,484

貸付状況

区 分	貸付者数[人]			貸付額 [円]
	大・専	高	計	
30年度新規貸付	2	0	2	960,000
在学貸付中の者	10	2	12	5,184,000
計	12	2	14	6,144,000

奨学基金総額

区 分	金額 [円]
貸付金	50,916,375
現金	41,956,484
計	92,872,859

② 事業の成果と課題

進学希望者を経済的に支援することができた。貸付希望については年度によって人数のバラツキがあるものの、現在は収支バランスが保たれている。しかし、今後希望者が急増すれば、基金の不足が予測される。

返還事務のシステム導入については今後の検討課題である。

③ 評価

事業 の 評 価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト削減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
備 考				

外部評価	B	評価委員意見	○収支のバランスが保たれるよう引き続き努力してほしい。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了		

(3) 連携教育推進事業

• 連携教育推進事業

① 事業の目的・内容

小学校又は中学校間及び中学校区ごとの小小連携や小中連携といった児童・生徒・教職員を含めた学校間の交流、教育振興を目的とする。

② 事業の成果と課題

本町で進める連携教育の目的達成のためにキャンプ、社会見学、合宿といった合同教育への講師謝礼や児童生徒の移動等に予算を充て、より効率的な推進を図った。

小学校間連携では、安芸太田中校区で集合学習を実施し、協調学習を積極的に実践するとともに、小学校間の人間関係づくりなどを推進した。

加計高校との連携教育では、高校生と中3の合同合宿を実施した。中1ギャップのみならず、高1ギャップの解消、進路決定に効果的であった。

また、新しい学びプロジェクト事業（市町と東京大学による協調学習研究連携）に町内小中学校の推進教職員が参加し、協調学習を主とした授業力向上を推進した。

• 人権教育研究推進事業

① 事業の目的・内容

国の委託を受けた広島県教育委員会が、人権教育の総合的な取組により、人権教育に関する指導方法の改善及び充実に資することを目的とした実践的な研究を実施し、人権教育の一層の推進を図るものである。本事業は3年間継続して行うものであり、本町では安芸太田中学校区（安芸太田中学校・筒賀小学校・上殿小学校・戸河内小学校）を指定地域として取り組む。

② 事業の成果と課題

本町では、これまで取り組んできた「協調学習」を核として取り組んでいる。各校で行われている授業、教育内容に人権教育の視点を意識して行うことで、「自他を大切にする」児童生徒の育成を目指した。県教育委員会人権教育係の指導主事、東京大学 CoREF 教授等の指導を受けながら取り組んだ。平成31年1月には、研究会を開き、県内外から多くの参加を得て協議を行った。

③ 歳出決算額

事業名	決算額 [円]	備考
連携教育推進事業	1,909,385	
人権教育研究推進事業	500,000	県委託金 500,000円

計	2,409,385	
---	-----------	--

④ 評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）		
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない <input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
備考			
外部評価	B	評価委員意見	○連携教育の成果が上がっている。継続推進の必要がある。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了		

(4) 加計高校を育てる会事業

① 事業の目的

本町唯一の高等学校である県立加計高等学校の特色ある学校教育推進と、県立高等学校再編整備基本計画における統廃合対象校である加計高等学校の存続を目指し、それに要する経費に対し補助金を交付する。

② 事業の成果と課題

学校全体の学力向上による進学率アップのための進路対策や、魅力ある学校づくりとしての地元の資源を生かした菌類の探究や森林講座、国際理解講座等を引き続き行っている。また、地元の中学校を対象としたオープンスクールや、中学校へ出向いての進路講演、進路面接指導を行うなど中学校と連携した活動を行い、中高連携を深めた。

また、平成28年度から引き続き、中高一貫教育に伴う連携枠として地元出身生徒の確保や、町外・県外からの生徒確保に努めた。

進路対策講座の一環として行っている「公営塾」は、会場を川・森・文化・交流センターとし、土日及び学校の振替休日を利用して開催し、加計高生はもとより中学生へも門戸を広げている。

広報活動としては、機会あるごとに生徒募集チラシを配るなどし、広報活動を行った。

加計高校生徒数（平成30年5月1日現在、単位：人）

1年生	2年生	3年生	合計
34	28	40	102

加計高校を育てる会への補助金内訳

事業名	金額[円]	内容
教育支援事業	3,797,452	進路対策講座、総合的な学習支援、部活支援ほか
総合支援事業	3,297,249	射撃部支援、通信衛星授業支援（講座受信料等）ほか
居住支援事業	3,642,024	寮生への居住支援 合計 18 名
広報等活動事業	3,828,776	加計高校の広報活動費用（五輪の峰、生徒募集チラシ作成費等）
合計	14,565,501	

公営塾講師賃金 2,188,380 円

③ 金額

歳出決算額		16,753,881 円
歳入決算額（特定財源）	過疎対策事業債	12,000,000 円
	企業版ふるさと納税	2,200,000 円

④ 評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト削減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
備考	令和元年度から、町長部局企画課へ業務を移管。			
外部評価	A	評価委員意見	○生徒数減少の時代に町内唯一の高等学校存続を目指し効果的な支援が行われ、県内外にPRできている。過疎地域でもできる進路の充実を今後も工夫したい。	
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

4. 学校管理費（小・中学校）・幼稚園管理費

(1) 小・中学校管理事業・幼稚園管理事業

- スクールバス運行（使用料及び賃借料）

遠距離通学に係る小学校便を5路線、中学校便は7路線で運行し、児童生徒の安全な登下校を確保した。

小学校費

学校名	運行地域	金額[円]	備考
加計小・加計中	修道・安野	9,255,862	小・中学生が一緒に登校
	坪野・津浪	6,916,586	
	殿賀	6,207,943	

戸河内小	松原・小板	6,160,546	
	寺領	4,570,236	
合計		33,111,173	

(統合に伴う通学経費の補助金 : 国庫補助 3,305,872 円・県費補助 995,775 円)

中学校費

学校名	運行地域	金額[円]	備考
加計中	猪山	1,912,960	中学校のみ利用及び週末部活便
	修道・安野	1,919,334	
	坪野・津浪	1,669,734	
	殿賀	1,499,610	
安芸太田中	寺領・下本郷・土居・上殿	7,583,266	松原・小板便は、スクールタクシー
	田吹・遊谷・上本郷	7,576,372	
	松原・小板	4,065,950	
合計		26,227,226	

(統合に伴う通学経費の補助金 : 国庫補助 4,418,128 円・県費補助 1,347,225 円)

① 評価

事業の評価	必要性 (町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性 (施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性 (事務効率化、コスト縮減しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度 (計画どおりに目標を達成できたか)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
備考				
外部評価	B	評価委員意見	○児童生徒の安全な登下校の確保がなされたことは良い。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

・ 小・中学校管理・運営事業

① 事業の目的・内容

児童生徒が安心・安全な教育活動を行うために、施設の保守・整備・修繕を行う。

② 事業の成果

ア 施設の修繕状況 (修繕料)

小学校 1,006,536 円

筒賀小芝刈り機・スクールバス車検等修繕

上殿小網戸修繕

中学校 1,089,877 円

加計中学習室ガラス修繕

安芸太田中工作室、トイレ修繕

イ 管理、点検等業務委託（委託料）

小学校 2,447,956 円

自家用電気工作物保安管理業務・消防設備点検・樹木剪定委託等

中学校 2,385,100 円

自家用電気工作物保安管理業務・消防設備点検

加計中エレベーター・空調設備メンテナンス委託 等

ウ 施設整備状況（工事請負費）

小学校費

事業内容	金額[円]	備考
加計小学校衛生設備整備工事	1,134,000	
筒賀小学校グラウンド排水工事	1,044,360	
上殿小学校施設保全工事	637,200	
町内小学校施設整備工事	615,600	
合計	3,431,160	

中学校費

事業内容	金額[円]	備考
加計中学校食堂棟屋根改修工事	20,981,160	
安芸太田中学校倉庫解体工事	453,600	
合計	21,434,760	

③ 評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				
外部評価	B	評価委員意見	○安全な教育活動を行うための施設整備は必要であり継続すべきである。	

事業の方 向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了
------------	---

5. 教育振興費（小・中学校）

(1) 小学校教育振興事業・中学校教育振興事業

- 遠距離通学費補助金 (平成30年4月～平成31年3月)

区 分	学 校 名	対象者数[人]	補 助 額[円]
中 学 校	加計中学校	2	30,800
	安芸太田中学校	4	14,700
合 計(a)		6	45,500

※自転車通学者も含む

- 特色ある学校づくり推進事業補助金

① 事業の目的・内容

各学校が独自性のある学校づくり推進事業の展開が実施できるように活動費補助を行い、もみじプラン21を基本とした特色のある活動を推進した。

小学校費

学 校 名	金 額[円]	事業テーマ
加計小学校	420,000	自ら学び 自ら考え 行動する児童の育成 (マーチングバンド合宿指導講師招聘、バンドフェス参加費用等)
筒賀小学校	125,500	ふるさとに学び、高い自己肯定感を持つ児童の育成 (歌唱指導、けん玉指導、食農活動指導、ものづくり教室講師謝礼等)
上殿小学校	126,500	魅力ある上殿小学校づくり(表現力の向上、心豊かな児童の育成)(米づくり、紙すき、和紙作り体験等講師謝礼、山ゆり訪問諸経費等)
戸河内小学校	121,412	自信と安心を育み、意欲を持った子どもを育てる教育活動の創造(絵本作り、新聞作成講師謝礼、地域交流活動費等)
合 計(b)	793,412	

中学校費

学 校 名	金 額[円]	事業テーマ
加計中学校	208,000	広い視野を持ち、地域に貢献し、主体的に生きる生徒の育成 (マナー講座、キャリア教育、歌唱指導、異文化活動等)
安芸太田 中学校	208,580	未来を創る人づくり 学びを生き方につなぐ教育の創造 (マナー講座、キャリア教育、地域活動等)
合 計(c)	416,580	

② 事業の成果と課題

特色ある学校づくり補助金による外部講師の招聘や地域の方の協力により、各学校とも学校長の経営方針に基づいた特色ある学校経営及び教育研究推進に大いに成果があがった。

• その他負担金及び補助金

① 事業の目的・内容

町内全小中学校が行う、合同修学旅行費用へ補助を行うもの。

また、平成 29 年度から行っている英語検定料補助を継続して実施し、全生徒に英語検定に挑戦する機会を設けた。

名 称		金額[円]	備 考
小学校	小学校修学旅行補助金（関西方面）	406,491	@12,000×32人 ほか
小学校計(d)		406,491	
中学校	中学校修学旅行補助金（東京方面）	703,870	@18,000×36人 ほか
	英語検定料補助金	250,350	加計中 64名分 安芸太田中 44名分
中学校計(e)		954,220	
小学校費補助金合計(b)+(d)		1,199,903	
中学校費補助金合計(a)+(c)+(e)		1,416,300	

② 事業の成果

町内全小中学校が、合同修学旅行をそれぞれ実施し、学校間の児童生徒の交流を深めることができ、団体行動による社会性の育成と同世代同士のコミュニケーション育成につながった。

英語検定料補助により、全生徒に英語検定に挑戦する機会を設けることができた。受験した級を取得できた生徒は 78.3%（前年度 63.4%）で向上した。また、中学 3 年卒業時の英検 3 級取得率は 54.3%（前年度 37.8%）で、国の目標値 50%を超えることができた。

③ 評価

事業 の 評 価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備 考	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない

外部評価	A	評価委員意見	○新学習指導要領では、社会に開かれた学校、主体的対話的で深い学びが求められている。その視点にそった教育内容づくりが重要である。特に、学校の時間の工夫に支援が必要である。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了		

(2) 小学校就学援助事業・中学校就学援助事業

① 事業の目的・内容

経済的理由によって就学困難と認められる学齢児童生徒の保護者に対して、国の制度に則り、学用品や給食費など必要な援助を行った。

② 事業の成果

援助が必要な児童生徒に対して、経済的負担を軽減することができた。

③ 歳出決算額

準要保護児童生徒就学援助費に係る支給状況 (平成30年4月～平成31年3月)

区分	対象者数			支給額 [円]			備考
	小	中	計	小学校	中学校	計	
学用品費等	46	28	74	589,030	614,910	1,203,940	
修学旅行費	7	9	16	99,680	364,059	463,739	
校外活動費	0	1	1	0	1,740	1,740	
新入学学用品費	8	4	12	162,400	379,200	541,600	
給食費	44	28	72	2,143,272	1,561,209	3,704,481	
医療費	13	2	15	16,820	2,500	19,320	
P T A 会費	29	24	53	81,500	99,000	180,500	
新入学用品入学前支給	4	7	11	162,400	331,800	494,200	
計(f)				3,255,102	3,354,418	6,609,520	

※就学援助対象者の割合 小学校18%、中学校22%

特別支援就学奨励費補助金に係る支給状況 (平成30年4月～平成31年3月)

区分	対象者数			支給額 [円]			備考
	小	中	計	小学校	中学校	計	
学用品費等	3	4	7	40,950	69,190	110,140	国庫補助額 小・中学校 139,000円
修学旅行費	1	1	2	14,240	20,226	34,466	
校外活動費等	3	2	5	540	5,290	5,830	
新入学学用品費	0	2	2	0	94,800	94,800	
給食費	3	4	7	146,916	176,440	323,356	
計(g)				202,646	365,946	568,592	
扶助費合計(f)+(g)				3,457,748	3,720,364	7,178,112	

④ 評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				
外部評価	A	評価委員意見	○貧困の連鎖が学力向上を妨げる現実があり、不可欠な事業である。今後もきめ細かい援助を継続したい。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

(3) 「山・海・島」体験活動推進事業

① 事業の目的・内容

日常とは異なる環境での生活を体験し、児童の自立心や主体性などを育てるとともに体験先の地域の方々や学校との交流を通して、コミュニケーション能力など人間関係を形成する力を育てることにより、児童の豊かな心を育成することを目的とする。

3泊4日の宿泊体験を加計小は単独で実施した。他の3校は合同実施の予定であったが7月の豪雨災害のため宿泊施設の受入ができず、今年度については中止した。

加計小は、マーチングバンドの練習を中心に仲間と協力することや、比治山大学の学生たちと交流することで参加児童が共通の関心・課題を持ち、仲間意識と共に自己有用感を高めることを目指して実施した。

② 事業の成果と課題

ア 成果

体験活動に関わる児童アンケートの結果、自分たちでやりきることにより「自立心」「主体性」が、そして集団生活により「仲間との連帯感」「コミュニケーション能力」の向上が見られた。また、自らの成長を実感した児童が多かった。4日間の集団活動を通して、互いに自分の考えや思いを伝え、交流することや暑い中でも自らを律し集団として高まること、そして感謝や思いやりの気持ちの大切さを体感できた結果の表れだと考えられる。

イ 課題

活動することが目的にならないために、本事業を行う中で育てたい児童の資質能力を

明確に位置づけるとともに、そのための活動の精査、振り返りの場の充実などを図る必要がある。このことも含め、今年度実施できなかった3小学校、また、これまで単独で実施してきた加計小について、内容と方法の見直しを行い、次年度については自然環境での体験活動を中心に5・6年生が参加し、4校とも江田島での合宿で計画を立てている。

③ 歳出決算額 433,655 円

④ 評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト削減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考	3泊4日長期宿泊体験は、小規模校がほとんどの安芸太田町の子どもにとって貴重な集団活動体験となっているが、開催が夏休み前に実施せざるを得ない状況が、1学期のまとめと重なり学校の多忙感の一つとなっている。今後、目的や内容、期間を含めて見直しを行う予定。			
外部評価	B	評価委員意見	○他人の釜の飯を食う体験は、自立した生活を営む土台となる。体験が体得となるような内容の工夫が必要であるが継続が望ましい。町内他地域の民泊も一つの方法である。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

6. 幼稚園費

(1) 幼稚園管理事業

① 事業の目的・内容

乳幼児期は、小学校以降の教育の基盤となる力を育む大事な時期であり、幼稚園では、幼稚園教育要領に沿って適切な教育課程を計画し実施してきた。

② 事業の成果と課題

町唯一の幼稚園の平成30年度における園児数は4名のみであり、集団教育や年齢に応じた教育が行えないこと等、大きな課題となっている。そのため、認定こども園や保育所との年齢別交流の継続実施や、ALTの週1回の訪問による英語あそびなどを積極的に実施し、小人数ではあるが工夫しながら想像力や表現力、思考力などを育てる取組みを行った。

園児数及び教職員数（平成30年5月1日現在、単位：人）

区 分	戸河内
赤組(3歳児)	1
黄組(4歳児)	1
青組(5歳児)	2
園児数計	4
前年度園児数	4
前年度比較	0
園 長	1
教 諭	2 (1)
職員数計	3

※ 園長は、小学校長が兼務 ()はうち臨時教諭

③ 歳入歳出決算額

平成23年度から、若者定住施策の一環と少子化対策に資するための政策として、町内未就学児の保育料及び幼稚園授業料の減免を行っている。平成25年度より、満18歳未満の子を扶養する世帯の第2子以降無料となり、幼稚園授業料徴収は以下ようになった。

歳入

区 分	金 額[円]	備 考
幼稚園授業料	0円	第2子3人、第3子1人

歳出（負担金及び補助金）

区 分	金額[円]	備考
広島県国公立幼稚園連盟会費	8,100	
合 計	8,100	

④ 評価

事業の 評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）		
	<input type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input checked="" type="checkbox"/> 減少
	<input type="checkbox"/> かなり減少		
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	<input type="checkbox"/> できていない		
	経済・効率性（事務効率化、コスト削減しているか）		
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	
<input type="checkbox"/> できていない			
目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	
<input type="checkbox"/> できていない			
備 考			
外部評価	B	評価委員意見	○全国的に少子化の中で、幼稚園の存続は難しい状況である。幼児期に求められる能力を育成するためには、他施設の充実が必要である。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了		

保健体育費

(2) 加計共同調理場運営事業・筒賀共同調理場運営事業

① 事業の目的・内容

2つの学校給食共同調理場から、町内の幼稚園、小学校、中学校及び保育所、認定こども園へ、安心して安全な完全給食を提供する。

② 事業の成果と課題

学校栄養士間で定期的に情報を共有し、広島県で取り組んでいる「ひろしま 100 万食プロジェクト」で募集した献立を取り入れたり、産直市や農家と連携を取り地元の食材を積極的に給食に取り入れたりすることで地域や町への関心を持つ機会を設けるとともに、豊かな献立作りを行っている。毎日、「ひとくちだより」を作り各学校に送ることで、栄養はもちろん、マナーなど給食を通して必要な事を学んでいる。

筒賀調理場の給食車をリフト機能付きにし、緊急時の相互協力が可能となった。

加計学校給食共同調理場（平成 30 年 5 月 1 日現在、単位：人）

職 員	場長 1人、栄養士 1人、調理員 正職3人、臨時5人（半日勤務・2時間勤務各1人）、運転手（臨時）4人			計 14人	
学 校 給 食（職員数は臨時・非常勤含む）					
幼稚園	児童数	職員数	合 計	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童数 144人 ・ 生徒数 67人 ・ 職員数 39人 <li style="text-align: right;">計 250人 	
戸河内	4	3	7		
小学校	児童数	職員数	合 計		
戸河内	36	8	44		
加 計	104	15	119		
中学校	生徒数	職員数	合 計		
加 計	67	13	80		
保 育 所 ・ 認 定 こ ど も 園（職員数は臨時・非常勤含む）					
保育所	3歳児未満	3歳児以上	職員数		<ul style="list-style-type: none"> ・ 3歳児未満 22人 ・ 3歳児以上 51人 ・ 職員数 23人 <li style="text-align: right;">計 96人
修 道	2	10	6		
認定こども園	3歳児未満	3歳児以上	職員数		
あさひ	20	41	17		

筒賀学校給食共同調理場

職員	場長（兼任）1人、栄養士 1人（兼任：筒賀小学校栄養教諭） 調理員 正職3人、臨時1人、運転手（臨時）1人 計7人		
学 校 給 食（職員は臨時・非常勤含む）			
小学校	児童数	職員数	合 計
筒 賀	36	9	45
上 殿	26	7	33
中学校	生徒数	職員数	合 計
安芸太田	46	14	60
			・児童数 62人 ・生徒数 46人 ・職員数 30人 計 138人

学校給食費徴収状況

(決算書P.40)

	年度	調定額 [円]	収入額 [円]	収入未済額 [円]	未納数 [件]
現年度分	30年度	26,497,207	26,373,790	123,417	29
過年度分	27年度	9,800	0	9,800	2
	29年度	119,812	119,812	0	0
	計	129,612	119,812	9,800	2
合 計		26,626,819	26,493,602	133,217	31

収納率 現年度分 99.53% (対前年比 0.02%減)

過年度分 92.97% (対前年比 0.53%増)

④ 評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト削減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input checked="" type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
外部評価	B	評価委員意見	○他市町と比較し、安芸太田町の給食は大変充実している。安心安全な給食は重要である。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

○ 教育委員会 生涯学習課

1. 社会教育費

(1) 社会教育総務管理事業

① 事業の目的・内容

社会教育の推進を図るため、各種団体への負担金・補助金を支払う。

社会教育関係負担金の内訳

名 称	金額[円]
広島県社会教育委員連絡協議会会費	24,000
けんみん文化祭ひろしま'18 開催負担金	100,000
広島県公民館連合会負担金	76,900
筒賀東区分館テレビ共同受信施設組合会費	2,400
広島県公民館大会参加負担金	6,000
合 計	209,300

社会教育関係補助金の内訳

名 称	金額[円]
安芸太田町女性連合会事業補助金	1,170,000
安芸太田町子ども会連合会事業補助金	250,000
安芸太田町PTA連合会事業補助金	250,000
青少年育成安芸太田町民会議事業補助金	630,000
安芸太田町文化団体連合会事業補助金	300,000
合 計	2,600,000

② 事業の成果と課題

各種団体への活動を支援することで、団体の活発な事業展開が図られた。ただし、団体ともに会員数が減少していることから、今後の団体の継続性について課題がある。

③ 歳出決算額 12,975,270 円

④ 評価

事業 の 評 価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）				

	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				
外部評価	B	評価委員意見	○各団体の継続的な活動内容が見えづらい面がある。学社連携の充実を図りたい。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

(2) 社会教育施設管理事業

① 事業の目的・内容

社会教育施設の運営維持のため、以下の施設について保守・整備・修繕を行う。

施設名	金額[円]	備考
戸河内ふれあいセンター	9,275,236	賃金・需用費・委託料 ほか
筒賀公民館	392,438	光熱水費・通信運搬費 ほか
筒賀公民館東区分館	200,406	消耗品・電話料・施設管理委託料 ほか
温井文化センター	251,322	施設管理・浄化槽管理委託 ほか
香南文化センター	353,003	指定管理・建物共済

② 事業の成果と課題

施設の管理について、各施設とも老朽化による修繕の増加が今後とも予想される。ただし早急に大規模改修とはならないことから、不具合箇所を早期に発見し適切な補修を行なう。そして、指定管理制度導入をについても検討する。

③ 歳出決算額 10,563,619 円

(3) 文化財保護管理事業

① 事業の目的・内容

指定文化財を含め貴重な財産である文化財の保存維持を図る。

種別	件数
国指定	2
国登録	2
県指定	14
町指定	37

② 事業の成果と課題

近年、文化財に対する関心が高まっている。これまで、文化財の考え方は大きく二つに分けられた。単に文化財を限られた人々で守り、価値を損なうことなく後世に継承していく「保存」、そして地域においてより多くの人々に対して公開し、鑑賞してもらい、親んでもらう「活用」である。これからは、文化財の本来的な価値の継承に配慮しつつ、地

域ニーズに沿った形での積極的な「活用」が新たに組み込まれるとともに、課題にもなっていくと思われる。

③ 歳出決算額 633,003 円

④ 評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト削減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				
外部評価	B	評価委員意見	○安芸太田町をアピールするためにも「活用」部分についての検討が必須だと思う。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

(4) 生涯学習推進事業)

- 地域生涯学習センター（小学校廃校地域対象）

① 事業の目的・内容

廃校となった小学校区を対象に地域生涯学習センターを開設した。

各地域の団体と連携し、講座や教室、スポーツ大会の開催、地域情報の提供等を実施し地域の活性化を促す。

② 事業の成果と課題

講座や教室、スポーツ大会の開催等で地域の活性化が図られた。

③ 歳出決算額 350,539 円

センター名	金額[円]	備考
松原地域生涯学習センター	94,939	報償費及び消耗品
二郷地域生涯学習センター	255,600	報酬
合計	350,539	

④ 評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			

	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト削減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				
外部評価	B	評価委員意見	○内容的には必要な事業だが、他部署所管の地域振興との整合性を図る必要がある。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

• 安芸太田町成人式

① 事業の目的・内容

新成人の門出を祝福するとともに、大人の仲間入りをしたことによる義務と責任を再確認してもらうための事業である。

開催日時 平成31年1月13日[日] 11:00～

開催場所 温井スプリングス

対象者 平成10年4月2日～平成11年4月1日生まれ

対象人数 男性 37人 女性 30人 計 67人

出席者数 男性 33人 女性 26人 計 59人

内 容 第1部「記念式典」

第2部「記念行事」

オープニング

懇親会（テーブルマナー、安芸太田町の紹介、恩師からのメッセージ、新成人レポート、中学校の思い出スライドショー、未来の自分にビデオレター）

記念品 「もりみん×カープコラボタオル」、「木製ボールペン」

② 事業の成果と課題

例年とおりの記念式典に加え、懇親会形式の記念行事を行い、2部構成に内容を一新することで、新成人自らが成人式に関わり、自分たちの成人式を作り上げ、新成人としての自覚と責任を高めることができたと思われる。

また、出席率は88%と高く、成人式を通して町への思いを新たにし、今後町へ何らかの関わりをもつことにつなげることができた。

③ 歳出決算額 1,247,618円

④ 評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				

外部評価	B	評価委員意見	○出席率の高さを評価する。企画と参加者の想いが重なっていると思われる。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了		

• 公民館講座（そろばん教室）

① 事業の目的・内容

そろばん教室を通して、現代の子どもたちに低下しがちな集中力、忍耐力、積極性を養う。

② 事業の成果と課題

受講者数は22人であった。

毎月検定を行うことにより、よりレベルを上げて行くというチャレンジ精神が養われている。

③ 歳入・歳出決算額

歳入（受講料） 283,500円

歳出（講師謝礼）287,000円 @7,000円/回×41回

④ 評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト削減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
備考				
外部評価	B	評価委員意見	○この講座の目的がどの程度達成され、次の学習活動につながっているのか評価し改善していくことが必要である。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

• カルチャー教室

① 事業の目的・内容

都市部では様々なカルチャー講座が実施され、意欲のある人が参加している。しかし安芸太田町ではたとえ意欲がある人がいても、交通手段等の事情により受講することが難し

い。そこで町が講師を招へいし、町民に対し安価で受講できるカルチャー講座を開講することにより、町民の文化に対する意識向上や生きがいつくり、日常の充実を図る。

太極拳を、3ヶ月を1つの期間として、3期（第1期：6月～8月、第2期：8月～10月、第3期：10月～12月）実施した。マナー講座は2期（第1期：6月～8月、第2期：10月～12月）、トールペイント（6月～12月）を1期実施した。

新規の講座として美磨女ヨガは、3期（第1期：6月～8月、第2期：9月～10月、第3期：11月～12月）実施した。

また、インターネットの利用促進とインターネットの活用による生きがいつくり等を目指し、パソコン教室を全4期実施した。

内 容	開催日	開催場所
実用的なパソコン技術	6月19日～21日	本庁東館
Windowsの基本操作	9月18日～20日	川・森・文化・交流センター
パソコンの基本操作	2月25日～27日	川・森・文化・交流センター
インターネット体験	3月18日～20日	本庁東館

② 事業の成果と課題

受講者数131人と平成29年度と比べ受講者数が増加し、町民の生きがいつくり、日常の充実、町民の交流が図られた。

対象者を中級～上級者向けとしたパソコン教室中心に、エクセルを活用した講座を実施するなどパソコンの利用促進、パソコンの実用的な活用による生きがいつくりが図られた。

今後は各地域で開催し、更なるインターネットの利用促進とインターネットの活用による生きがいつくりを目指す。

③ 歳出

講師料、講師交通費 1,991,400円

④ 評価

事業 の 評 価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
備 考				

外部評価	B	評価委員意見	○どのように生きがいにつながっているのか、参加者の声やその後の生活などを学習振興として積極的に発信していく必要がある。
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了		

• 芸術文化推進事業

① 事業の目的・内容

質の高い芸術文化に触れてもらうことにより、町民の芸術文化感覚を養う。

また、文化団体連合会の事務局を教育委員会に置き、町民の芸術文化活動を発表する場を設けることにより、町民の日々の生きがいづくりを支援する。

② 事業の成果と課題

質の高い芸術文化は町民に感動を与え、また、町民の発表の場では素晴らしい演舞等の中に笑顔を生み出すことができた。

高齢化等による観客数の減少や、文化団体の出演団体数が減少している。加盟団体数も微減しており、支部での活動は困難となったため、平成 28 年度から支部をなくし、連合会一本としている。

ア 安芸太田町文化団体連合会活動の促進・支援

総会 年 1 回開催（5 月 22 日）

幹事会 年 4 回開催

イ 文化団体連合会の主な主催事業

第 3 回安芸太田町文化芸能フェスティバル

日 時 10 月 27 日（土）～28 日〔日〕

場 所 戸河内ふれあいセンター

③ 評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				

外部評価	B	評価委員意見	○町民の日々の生きがいをづくりを支援することは重要である。その視点で、イベントありきとならないように配慮したい。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了		

• 人権関係

① 事業の目的・内容

ア 地域人権教育支援事業

回	日時	対象	内容	参加者
1	11/5 (月)	津浪振興会	テーマ「人・ふれあい・ふるさと・地域づくり」 講師 「経教は鏡のごとし」 法専寺 佐々木 亮 師	30人

イ 人権フェスタの開催

平成30年度は町・教育委員会の主催で開催した。各団体・機関が実施している人権イベントの連携と交流のネットワークを図り、お互いの活動を紹介し合い、情報を共有し、人的な交流を深め合うことを大切にするため、平成20年度から実施している。

日時 平成30年12月8日(土) 13:30~15:30

場所 川・森・文化・交流センター(1階やまびこホール)

・演劇公演 おそらく劇場ピロシマ「ウタとナンタの人助け」

・人権展：町内小学6年生の人権標語展示

(人権標語は町内小・中・高等学校、町内企業等所で展示)

② 事業の成果と課題

地域の自治振興会を対象とした「地域人権教育支援」は、地域の自主的・主体的な取り組みとして、1地区で実施した。開催時期や時間帯などの要望は様々であり、今後はなるべく参加しやすいよう、意向に添うものにしていく必要がある。

また、人権週間・障害者週間と合わせ、平成30年度で11回目となる「人権フェスタ」を開催した。演劇を通してアンケートより「一人一人が役・・・大切な役、劇中だけでなく日常がそうである世の中がこの安芸太田であってほしい」、「障害者がひとりひとり自分の役割を演じていて感動しました」、「おもわず涙が潤いましたが、中には声を出して笑えました。心が温まる思いがしました」という感想があった。

町内外から約100人の参加があり、多くの方との交流を深めるなかで人権の大切さを改めて確認できるイベントとなった。

③ 歳出決算額 120,968円

④ 評価

業 事	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか)
-----	-------------------------------

	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				
外部評価	B	評価委員意見	○「ウタとナンタの人助け」は内容も出演者一人一人の活躍もすばらしく、多くの方に見て感じてほしかった。人権フェスタ等のイベントにさらに多くの人（子供～年輩の方まで）を集める工夫をしてほしい。	
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

- 子ども会活動

- ① 事業の目的・内容

連合会の事務局を教育委員会内に置き、町子ども会連合会としての主催活動を展開し、情報の交換・共有を図る。

- ② 事業の成果と課題

様々な事業を行う中で地域の子ども会活動を支援し、子どもたちに楽しむ場を提供した。子どもの減少により、子ども会を組織できなくなる地域が増えているが、町子ども会連合会を受け皿にして、町子ども会連合会の主催活動には全ての子どもが参加できる体制をとっている。

- ア 安芸太田町子ども会連合会活動の促進・支援

総会 年1回開催（5月10日）

役員会 年5回開催

- イ 山村交流会

趣旨 海沿いに面する地域に住む町外の子どもたち（山口県熊毛郡上関町）との交流を図るとともに、お互いの子ども会活動の情報を交換しあう中で、更なる活動の活性化を進める。

主催 安芸太田町子ども会連合会
上関町子ども会育成連絡協議会（山口県熊毛郡上関町）

日時 平成31年2月3日（土）

場所 猪山集会場周辺

- ウ 親子クリーンハイキング

趣旨 親子でハイキングをすることにより親子の絆を深めるとともに、ハイキン

グの際、ゴミを拾うなど美化活動を行なうことにより環境保全の意識、ボランティア精神の向上を高める。

主催 安芸太田町子ども会連合会

日時 平成31年3月3日[日]

場所 川・森・文化・交流センター～加計市街地

- P T A活動

- ① 事業の目的・内容

- 安芸太田町P T A連合会（以下町P連とする）の事務局を教育委員会内に置き、町P連としての主催活動を促進し情報交換・共有を図るとともに、各学校単位P T A（以下「単P」とする）の活動を支援する。

- ② 事業の成果と課題

- 単Pの支援及び町P連会議を行うことにより、単P間の情報の共有ができP T A全体としての意向の方向付けができた。

- ア 安芸太田町P T A連合会活動の促進・支援

- 総会 年1回開催（5月7日）

- 理事会 年2回開催

- 県P T A全小・中学校P T A会長研修会参加

- 日本P T A全国研究大会参加

- 県P T A研究大会参加

- 日本P T A中国ブロック研究大会参加

- 全小・中学校母親代表研修会

- イ 四季の教室『夏』～水生昆虫観察隊～

- 趣旨 町内の四季折々の自然に直接触れ、豊かな地域の自然の特色を楽しく学び、郷土を愛する心を育む。

- 主催 安芸太田町P T A連合会

- 安芸太田町子ども会連合会

- 日時 平成30年9月1日（土）

- 場所 戸河内桜公園付近

- 講師 広島県環境保健協会 環境生活センター 水道事業課 原竜也さん

- ウ 四季の教室『秋』～深入山・昆虫調査隊～

- 趣旨 町内の四季折々の自然に直接触れ、豊かな地域の自然の特色を楽しく学び、郷土を愛する心を育む。

- 主催 安芸太田町P T A連合会

- 日時 平成30年9月22日（土）

- 場所 深入山周辺

- 講師 上野 吉雄 さん、上手 新一 さん

- 青少年育成町民会議活動

① 事業の目的・内容

町民会議の事務局を教育委員会内に置き、町民会議として主催活動を促進するとともに、情報交換・共有を図る。

② 事業の成果と課題

各種事業を行うことにより関係団体間の連携・情報交換ができ、地域全体で青少年を育んで行くという大きなつながりができた。

ア 青少年育成安芸太田町民会議活動の促進・支援

総会 年1回開催（6月28日）
常任理事会 年2回開催

イ 立志式の開催

趣旨 成長過程にある安芸太田町内中学校2年生を激励するとともに、生徒自らが自立心をもって生きることを促し、心豊かでたくましく生きる生徒の育成を図る。

日時 平成31年1月26日（土）
場所 川・森・文化・交流センター
講師 加計出身 国吉 正幸 さん
対象者 町内中学2年生37人

ウ 第11回あきおおたゲームハイキングの開催

趣旨 町内の自然・文化・歴史を訪ね、地域の方から話を聴き、地域を知るとともに、郷土に誇りを持ち郷土を愛する心を育む。

また、多くの仲間との交流を通じて、協力することの大切さを学ぶとともに、友情の和を広げ世代の枠を超えた交流の中で、お互いを理解しあう。

主催 青少年育成安芸太田町民会議
日時 平成31年3月27日（水）
場所 戸河内地域

③ 評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考	団体の会員数が減少している。今後、事業の見直しが必要。			

外部評価	B	評価委員意見	○少子化の中で熱心に取り組んでいただいている。参加者の声を積極的にPRするなど学習評価をしっかり行ってほしい。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了		

(5) 図書館運営事業

① 事業の目的・内容

- ・図書館協議会開催

日時 平成31年2月20日(水)

議題 平成30年事業報告及び平成31年度事業計画について

- ・図書購入状況

	区分	30年購入	金額 [円]	備考 (寄贈含む)
本館	蔵書	772冊	1,139,834	総冊数 46,593冊
	雑誌	19種類	153,599	総冊数 573冊
筒賀分室	蔵書	178冊	246,089	総冊数 9,672冊
	雑誌	4種類	36,708	総冊数 248冊
戸河内分室	蔵書	282冊	382,949	総冊数 14,085冊
	雑誌	9種類	84,362	総冊数 415冊
大型絵本・紙芝居		2点	12,420	蔵書へ含む
視聴覚		5点	57,240	総数 881点

- ・図書館利用状況

ア 開館日数 [本館] 279日

[筒賀分室] 271日

[戸河内分室] 289日

イ 貸出し冊数

	区分	本館	筒賀分室	戸河内分室	移動図書館
貸出し冊数	一般書	8,248冊	1,351冊	3,144冊	1,502冊
	児童書	13,551冊	1,761冊	4,160冊	4,241冊
	雑誌	1,074冊	79冊	572冊	8冊
	視聴覚	1,612点	35点	144点	18点
	その他	35冊	2冊	1冊	0冊
	計		24,520冊	3,228冊	8,021冊

ウ 移動図書館やまびこ号

- ・月1回 火・木・金曜日に町内20箇所を巡回 (ぶらっとホームつなみ 追加)

- ・利用状況 利用者数 2,003 人
- エ 平成 29 年度に引き続き司書 2 名体制で巡回活動を行った。
 - ・小学校 4 校、中学校 2 校 絵本の読み聞かせ、図書委員会活動支援など
 - ・幼稚園・保育園・児童センター 7 か所 絵本の読み聞かせ
 - ・広島県教育委員会生涯学習課との共催事業「なかよしおはなし会」
幼児と親の参加
 - ・読書会の定着
小学校との協働授業による読書量の増加

② 事業の成果と課題

図書館での読書環境改善や、図書館利用の促進と子どもの読書を推進する取り組みとして、図書館外へ本を送り出す「移動図書館やまびこ号運行」や「司書による巡回活動」、「県立図書互助・教弘文庫」、「おひさま文庫（旧学校図書）」活動を定例行事等と合わせて展開し、多くの本に出会う機会と情報を提供することで利用増加を図った。結果、本館と各分室の貸出し冊数が対前年比を上回った。移動図書館については、巡回場所の変更などを行ない、一般利用者数と小学生の利用者数が増加した。

③ 歳出決算額 12,389,026 円

④ 評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト削減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> きている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				
外部評価	B	評価委員意見	○限られた人員の中で、様々な活動によく取組まれている。移動図書館は、少ない利用者であっても継続が望まれる。司書による学校授業への参画も展開するとよい。	
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

(6) 放課後子ども教室推進事業

① 事業の目的・内容

放課後や長期休業日に小学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設ける。

地域の方々の参画を得て、子どもたちと共に勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との

交流活動等の取り組みを実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。

区 分		事 業 の 実 績 内 容	
1	子ども教室名	加計小学校放課後子ども教室	
2	当該小学校区名	加計小学校区	
3	実施場所	安芸太田町立加計小学校	
4	実施日数	年間： 238 日	平日 199 日
			土曜日及び長期休 39 日
5	参加対象者(1日当たり)	対象：小学1年生～小学4年生	人数： 26 人

区 分		事 業 の 実 績 内 容	
1	子ども教室名	修道放課後子ども教室	
2	当該小学校区名	旧修道小学校区	
3	実施場所	旧修道小学校・修道活性化センター	
4	実施日数	年間： 164 日	平日 131 日
			長期休業日 33 日
5	参加対象者(1日当たり)	対象：小学1年生～小学6年生	人数： 13 人

区 分		事 業 の 実 績 内 容	
1	子ども教室名	戸河内小学校放課後子ども教室	
2	当該小学校区名	戸河内小学校区	
3	実施場所	安芸太田町立戸河内小学校	
4	実施日数	年間： 233 日	平日 199 日
			土曜日及び長期休業日 34 日
5	参加対象者(1日当たり)	対象：小学1年生～小学6年生	人数： 16 人

区 分		事 業 の 実 績 内 容	
1	子ども教室名	津浪放課後子ども教室	
2	当該小学校区名	旧津浪小学校区	
3	実施場所	旧津浪小学校	
4	実施日数	年間： 29 日	平日 0 日
			長期休業日 29 日
5	参加対象者(1日当たり)	対象：小学1年生～小学6年生	人数： 7 人

② 事業の成果と課題

平成 30 年度も町内 4 箇所で事業を実施した。加計小・戸河内小放課後子ども教室については土曜日も開校している。

勉強やスポーツ・文化活動や長期休業日期间には地域住民との交流活動を行い、子ども

たちの安全・安心な活動拠点づくりが図られた。

、利用希望児童は増加したが、施設規模の問題から希望者全員を受け入れることができず、課題が残ったが、年度途中で修道放課後子ども教室を平日も開校した。

補助事業	補助事業対象経費総額	補助金額 (2/3)
放課後子ども教室推進事業	4,659,381 円	3,106,000 円

③ 歳出決算額 5,857,579 円

④ 評価

事業の評価	必要性 (町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性 (施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性 (事務効率化、コスト縮減しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度 (計画どおりに目標を達成できたか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				
外部評価	A	評価委員意見	○指導員の人材確保が難しいことが想像されるが、利用者ニーズに応じてよく運営されている。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

2. 保健体育総務費

(1) 保健体育総務管理事業

① 事業の目的・内容

ア スポーツ推進委員報酬 13人 442,000円

イ 平成30年度 中国地区スポーツ推進委員研修会兼広島県スポーツ推進委員研究大会

日時 平成30年6月16日(土)～17[日]

場所 広島市 (JMS アステールプラザ)

内容 講演

ウ 平成30年度 芸北地区スポーツ推進委員研修会

日時 平成30年8月25日(土)

場所 甲田文化センターミュージズ

内容 実技研修

エ 平成30年度 広島県女性スポーツ推進委員研修会

日時 平成30年9月9日[日]

場所 東広島市（東広島運動公園）

内容 講演・実技研修

オ 平成30年度 広島県総合マネジメント研修会

日時 平成30年9月30日[日]

場所 庄原市（庄原市総合体育館）

内容 講演・実技研修

カ ファミリー健康体力測定会

日時 平成30年11月10日（土）

場所 安芸高田市（安芸高田市民文化センター クリスタルアージュ）

内容 親子体力測定

キ 全国スポーツ推進委員研究協議会

日時 平成30年11月15日（木）～16日（金）

場所 鹿児島県鹿児島市（鹿児島アリーナ）

内容 講演

ク 安芸太田町体育協会総会

日時 平成30年5月28日（月）

議題 ・平成29年度事業報告及び収支決算報告について

・平成30年度事業計画（案）及び収支予算（案）の承認について

補助金 1,620,000円

② 事業の成果と課題

スポーツ推進委員の研修参加によりスキルアップが図られた。

また、ライフル射撃大会を実施することで町内の宿泊業者、弁当業者、印刷、記念品業者、バス事業者等に経済波及効果が生まれた。

メキシコオリンピックチーム事前合宿受入・交流事業については、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、平成29年5月にメキシコオリンピックチームの対象26競技の広島県内実施に関する協定を締結。同年8月には個別合宿地が県内10市町に決定し、安芸太田町は平成30年からライフル射撃競技の受け入れとなった。

平成30年度に係る事前合宿は中止となったが、次年度に向けてメキシコのオリンピック選手団が安全・安心に練習に取り組み、本大会に向けて万全の態勢で臨めるように支援体制を築くと共に、オリンピックを通じスポーツに限らず、地域との文化的な交流が深まるようなメニューを計画するとともに、広島県、日本ライフル射撃協会及び広島県ライフル射撃協会等と連携を図る。

③ 歳出決算額 4,774,751円

第56回全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会

日時 平成30年8月1日（水）～4日（土）

場所 つつがライフル射撃場

参加 44都道府県 131校 参加選手539人

宿泊者数 延べ1,319人（うち町内 延べ919人）事務局把握分

収 入

項 目	金額[円]	備 考
スポーツ団体負担金	800,000	全国高等学校ライフル射撃部 600,000 日本ライフル射撃協会 200,000
町補助金	2,300,000	地域活性化センター基金 800,000 町補助金 1,500,000
参加料	2,619,000	団体 1,020,000 個人 1,599,000
雑 入	637,500	出店料 30,000 広告料 50,000 記念Tシャツ販売等 557,500 円
預金利息	12	
繰越金	316,827	平成 29 年度より繰越
計	6,673,339	

支 出

項 目	金額[円]	備 考
報償費	477,500	参加者記念品ほか
旅 費	0	
需用費	1,123,169	射撃競技用品消耗品・パンフ印刷ほか
役務費	652,761	競技用具郵送他
使用料及び賃借料	2,939,384	送迎バス・機材貸出料ほか
食料費	44,800	役員用弁当代
委託料	447,032	保険・交通警察員ほか
計	5,684,646	

収入 6,673,339 円 - 支出 5,684,646 円 = 988,693 円 次年度へ繰越し

メキシコオリンピックチーム事前合宿受入・交流事業

合宿期間及び規模（平成29年度合意内容）

- ・ 競技種目 射撃（ライフル射撃）
- ・ 合宿期間 平成 30 年 8 月 16 日（木） ～ 31 日（金） 16 日間
- ・ 予定人員 28 人（内訳；選手 24 名・スタッフ 4 名）
- ・ 練習会場 広島県つつがライフル射撃場
- ・ 宿泊施設 温井スプリングス
- ・ 連携医療機関 安芸太田病院

④ 評価

事業 の 評 価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない

	経済・効率性（事務効率化、コスト削減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				
外部評価	B	評価委員意見	○保健体育事業にとって、ライフル射撃は本町の特色である。町民へのPRをさらに充実させていただきたい。また、少ない職員で多数の社会体育施設をよく管理されている。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

(2) 体育施設管理事業

① 事業の目的・内容

町内の体育施設の維持管理、修繕等を行う。

② 事業の成果と課題

近年すべての体育施設は老朽化しており、年々修繕費等の経費が増大している。

③ 歳出決算額 26,494,006 円

歳出の内訳

施設	設置場所	支出額[円]	備考
体育施設	加計体育館	7,707,726	指定管理委託料 電気、上下水道、燃料等
	修道活性化センター	2,352,016	管理委託料 保守点検・維持管理等
	津浪体育館 (津浪スポーツ広場も含む)	286,115	AEDレンタル
スポーツ広場	見入ヶ崎スポーツ広場	115,193	管理委託料、水道等
	温井スポーツ広場	119,958	管理委託料、電気代
	松原スポーツ広場	30,000	管理委託料
	至誠スポーツ広場	12,812	電気代
	筒賀ふれあいスポーツ広場	233,049	電気・水道代、管理委託料等
	筒賀多目的スポーツ広場	886,664	電気代等
	修道スポーツ広場	75,336	電気代、管理委託料等
	坂根スポーツ広場	771,668	管理委託料、保守点検等
	殿賀スポーツ広場	349,845	管理委託料、電気代等
	杉の泊スポーツ広場	30,000	管理委託料
筒賀ゲートボール場	3,253	電気代	

学校体育施設	加計小学校体育館	106,744	管理委託料、夜間照明
	筒賀小学校	221,165	夜間照明
	上殿小学校	46,214	夜間照明
	加計中学校	339,149	夜間照明
その他	旧戸河内中学校	1,153,549	夜間照明、土地賃借料等
	向光石広場	30,000	管理委託料
町内プール	加計・戸河内・筒賀・坂原・井仁・松原・猪山・上殿・寺領・平見谷・修道・津浪	11,623,550	賃金、管理委託料、保守点検・維持管理・水質検査、AEDレンタル等
合 計		26,494,006	

ア 加計体育館利用状況

年間利用状況

利用日数[日]	利用件数[件]	利用者延べ人数[人]
307	632	11,003

種目別利用状況

種 目	利用団体 [団体]	利用件数 [件]	利用者延べ人数 [人]	利用料金 [円]
バレーボール	16	255	3,904	230,580
ビーチボールバレー	1	69	836	56,580
バドミントン	11	103	1,102	125,730
卓球	5	54	470	14,860
テニス	2	39	423	18,600
フットサル	2	53	1,285	137,855
バスケットボール	3	3	94	16,740
その他	20	55	2,889	427,083
合 計	60	631	11,003	1,028,028

イ 戸河内ふれあいセンター利用状況

年間利用状況

メイプルホール			アリーナ		
利用日数 [日]	利用件数 [件]	利用者延べ 人数[人]	利用日数 [日]	利用件数 [件]	利用者延べ 人数[人]
86	95	5,694	217	366	6,577

種目別利用状況

種 目	利用団体 [団体]	利用件数 [件]	利用者延べ人数 [人]	利用料金 [円]
バレーボール	6	8	81	10,000

ビーチボールバレー	1	30	159	6,800
ソフトバレーボール	1	40	217	12,800
バドミントン	7	29	632	247,740
卓球	5	111	1,661	34,300
剣道	4	82	882	7,780
その他	24	66	2,945	152,390
小計	48	366	6,577	471,810
メイプルホール	30	95	5,694	341,900
(冷暖房)				40,480
楽屋	17	25	238	46,620
(冷暖房)				2,690
ピアノ、音響等				17,857
ロビー	0	0	0	0
小計	47	120	5,932	449,547
合計	95	486	12,509	921,357

(3) 社会体育振興事業

① 事業の目的・内容

ア 安芸太田町民グラウンドゴルフ大会

日時 平成30年10月24日(水)

場所 深入山グラウンドゴルフ場

参加者 94人(22自治会)

② 事業の成果と課題

行政は今後も住民ニーズを把握しながら、スポーツ振興に資する住民の活動を側面支援する必要がある。

③ 歳出決算額 270,851円

④ 評価

事業 の 評 価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				
外部評価	B	評価委員意見	○スポーツ振興がどのように行われているのか、あまり実感がない。取組によってどれだけ振興できたのかを事業評価すべきである。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			